

平成 23 年度後期（第 1 回）12 月実施 キャリア・コンサルティング技能検定

1 級 実技（論述）試験

実施日 ◆平成 23 年 12 月 18 日（日）

試験時間 ◆14：30～16：30（120 分）

★注意事項★

1. 本試験の出題は、必須問題（共通事例）と選択問題（分野別事例から選択）です。事例を読み、必須・選択問題それぞれ指定された解答用紙の設問ごとに記述してください。
2. 解答用紙それぞれに受検番号を記入し、受検者シールのバーコードシール 1 枚を指定の位置に必ず貼付してください。
3. 試験中は、受検票、時計又は筆記具（鉛筆・ペン・消しゴム）以外のもの（定規・メモ用紙・筆記具入れ等）は机上に置かず、カバンなどの中にしまってください。
4. 試験中は携帯電話、PHS の電源は必ずお切りください。時計としても使用できません。多機能付時計は、時計としてのみ使用できます。時計のアラーム等、音の出る機能も使用できません。
5. 試験中は、乱丁・落丁・印刷不鮮明に関する質問以外はお受けできません。
6. 不正行為があったときは、すべての解答が無効となります。
7. 試験終了の合図が告げられたら、直ちに筆記具を置き、試験監督者の指示に従ってください。
8. その他、試験監督者の指示に従ってください。

【退席時の注意事項】

1. 試験開始後 30 分経過した時点で中途退出できます。中途退出する場合には、挙手し、試験監督者の指示に従ってください。問題用紙はお持ち帰りください。
2. 試験終了時刻 5 分前からは退出できません。試験終了後、試験監督者が解答用紙を回収しますので、着席したままでお待ちください。

○実技試験の合格は実技（論述）及び実技（面接）試験両方とも合格基準に達した者となります。

○平成 24 年 3 月 16 日（予定）に受検者全員に合否通知書を送付いたします。

合格者は当協議会のホームページに受検番号を掲載してお知らせします。

(<http://www.career-kentei.org/goukaku/>)

厚生労働大臣指定試験機関

特定非営利活動法人キャリア・コンサルティング協議会

〒105-0011 東京都港区芝公園 1 丁目 7 番 6 号退職金機構ビル別館 3 階 TEL03-5402-5588

☆☆ 解答にあたっての注意事項 ☆☆

1 級実技(論述)試験の問題は、**必須問題(共通事例)**と**選択問題(分野別事例から選択)**です。

選択問題は、企業分野、需給調整機関分野、教育機関分野の3分野の事例から1つ選び、選択問題の解答用紙に**選択した分野を○で囲んでください。**

必須問題、選択問題、それぞれ指定された解答用紙の設問ごとに解答を記述してください。

なお、事例は、事例相談者(キャリア・コンサルタント)が相談者に対してキャリア・コンサルティングを行った結果をもとに、事例相談者が事例指導を受けるためにまとめたものです。

事例1【必須問題】

事例相談者：キャリア・コンサルタント 女(45歳)

相談者：A(男：52歳)

事例2【選択問題：企業分野】

事例相談者：企業内キャリア・コンサルタント 男(28歳)

相談者：B(女：26歳)

事例3【選択問題：需給調整機関分野】

事例相談者：公共機関のキャリア・コンサルタント 男(43歳)

相談者：D(女：33歳)

事例4【選択問題：教育機関分野】

事例相談者：大学内キャリアセンターのキャリア・コンサルタント 男(45歳)

相談者：E(男：22歳)

この事例に登場する人物、団体は本技能検定用に作成したもので、実在のものとは何ら関係ありません。

解答にあたって、**解答用紙の裏面をメモ書き用として使用することは可能**です。なお、裏面に記載されたものは採点対象にはなりません。

◇試験問題で使用される用語について

事例相談者とは、キャリア・コンサルタントのことを指し、相談者の希望に応じて実施されるキャリアに関する相談とその支援を行う者が、自分が実施したキャリア・コンサルティングに関して相談をする者を指します。

相談者とは、自らの進路相談、職業相談、人事労務に関する相談など、キャリアに関する問題を抱え、キャリア・コンサルタントに相談に来た者を指し、事例に登場するものを指します。クライアント、クライアントと同意語として使用しています。

事例 1 :【必須問題（全員解答）】

次の事例を読み、以下の問いに答えなさい。解答は指定された解答用紙（必須問題）に記述すること。

事例相談者：キャリア・コンサルタント 女（45歳）、相談歴 2年

相談者：A（男：52歳）、工場内軽作業員 妻（50歳）長男（高校2年）長女（中学2年）

【来談経緯】

Aさんは地元の工業高校を卒業後、何社かの転職を経て、4年前から都内の部品メーカーで工場内軽作業員として働いている。本年9月上旬に、工場長から「景気が回復せず厳しい状況なので、申し訳ないが来月から給料を10%カットしたい」と言われた。「そんなことを突然言われても納得できない」と言ったものの、「他に策がないんだ」とのこと。その場で「こちらから辞めてやる」と言いそうになったが、ふと子どもの顔が頭に浮かび「ちょっと考えさせてほしい」と言って了解を得た。そして工場長から「一人で考えるのも良いが、専門家に相談してはどうか」と言われ、キャリア・コンサルタントを紹介され、予約した。

【面接経過】 ()内キャリア・コンサルタント発言、「」内相談者発言

面接日、Aさんは、キャリア・コンサルタントに対して高校卒業後、地元の製造業に就職したこと、いろいろな職につきながら、4年前から都内の部品メーカーに工場内軽作業員として勤務していること、突然、「給料10%カット」という話になり、その場で辞めようかと思ったが子どもの顔が浮かび、少し考えさせて欲しいと言って、了解されたこと、同時に工場長からキャリア・コンサルタントを紹介されたことを語った。そして、今後、どうしたら良いか教えてほしいと語った。

（今後の働き方についてのご相談ですね。）

「そうです。それでなくても少ない給料を1割下げられて、それでもそのまま仕事を続けるのか？ それとも、新たな仕事に就くのか？ どうするのが良いんだろうと思っています。」

（お子さんの顔が頭に浮かんだとのことですが、ご家族の状況について教えてくださいか？）

「家内は、近所のスーパーでレジのパートをしています。長男は高校2年生、長女は中学2年生です。本人が望むなら、二人とも大学にも行かせてやりたいと思っています。」

（そうですか。お二人のお子さんを大学まで行かせることを想定すると、当面は現役で働く必要がありますね。今の仕事を続けるか、新たな仕事に就くかというお話をされましたが、何かやってみたいと思われる仕事はありますか？）

「特にこれをやってみたいと思う仕事はありません。ただ、考えてみると、今までずっと現場の仕事だったので、内勤の仕事が良いかもしれないと思っています。それに、私も50を超えました。体は丈夫な方ですが、最近五十肩に腰痛も出てきました。そろそろ事務所での仕事が良いのではないかともあります。」

（そうですか。今まで現場仕事ばかりだったという事と、体力的にも外の仕事よりも内勤の仕事の方が良いのではないかと、そんな風にお考えなのですね。）

「そうですね。この際だから、今の製造工場は辞めてしまって、今度は内勤の仕事をやった

方が新鮮だし、体力的にも精神的にも良いように思います。ところで、内勤の仕事というのは具体的にはどんな仕事があるんですか。】

（内勤といっても、いろいろな仕事があります。企業規模によって様々ですが一例を挙げると、総務・経理・財務・人事・教育・広報・法務・経営企画等でしょうか。どの仕事も専門的な知識・スキルが要求されますし、それぞれ奥の深い仕事です。）

「そうですか。内勤と言っても色々な仕事があつて、それぞれに勉強しなければならない事があつて難しそうですね。でも、その分、やりがいもありそうですね。」

キャリア・コンサルタントは、Aさんに対して、それぞれの職種についての説明を加えながら、どの仕事に興味・関心があるか？ やってみたいと思えるか？ 等を確認した。ただ、Aさんが十分に理解をしてくれたかどうか不安に感じるところもあったので、来週の同じ曜日、同じ時間に再度お越し頂いて、今後の進め方についての打ち合わせを行うことにした。

【その後の経過】

翌週、Aさんはやって来た。「先日はありがとうございました。おかげですっきりしました。家内とも相談したのですが、今の工場は辞めようと思います。この先は、内勤の仕事で頑張りたいと思います。今後、どのように活動を進めれば良いか具体的に教えてください」と告げられた。

【所感】

キャリア・コンサルタントとしては、今後の方向に悩んでいたAさんの心情をしっかり受け止めることで、相談者との関係を構築できたことは良かったと思っている。また、Aさんは、奥さんとも相談し、自らの意思で新たな方向に向けての意思決定ができたことは成長だと思えた。

以上

問1 この事例相談者は、相談者の問題をどのように把握しているか、及び事例相談者が抱えている問題は何か、についてあなたの考えを記述せよ。(10点)

問2 この事例相談者の問題について、どのような目標を設定し、その目標を達成するためにどのような方法を用いるか、その根拠を含めて記述せよ(10点)

問3 この事例相談者に対して効果的な支援を行うための方法、内容を具体的に記述せよ。(10点)

問4 この事例相談者が課題を解決できるネットワーク（関係機関や関係者等）は何か。その根拠を含めて記述せよ。(10点)

問5 この事例において、環境上の問題は何か。その問題に対してどのような働きかけが考えられるか、具体的に記述せよ。(10点)

事例 2 :【選択問題（企業分野）】

次の事例を読み、以下の問いに答えなさい。解答は指定された解答用紙（選択問題）に記述すること。解答用紙（選択問題）の選択した分野で「企業分野」を○で囲むこと。

事例相談者：企業内キャリア・コンサルタント 男（28歳）、研修部門所属、相談歴2年
相談者：B（女：26歳）4年制大学卒（経済学部：マーケティング専攻）、独居
C社（中堅IT企業）勤務

【来談経緯】

- ・C社は、中堅のIT企業で、ネットワークやセキュリティに関する機器を使用し、インフラ構築を行っている。グローバル化を推進するため、語学力に優れたSEを募集していた。
- ・Bさんは、英語が得意で語学力を活用した仕事ができると考え、SE職について具体的なイメージを持たないまま入社した。
- ・入社して約2ヶ月間、新人研修でSEに関する技術を学んだ。しかし、ITへの理解は同期に比べて中の下ぐらいであった。研修中からSEの仕事に対する不安を持っていたが、研修終了後、プロジェクト現場に配属される人事面談で「仕事を通してしっかり学ぶことで、1年後には成長できる」と言われ、不安は少し和らいだ。

Bさんは研修終了後1年ほどOJT担当から良く面倒を見てもらえたが、2年目に入ると、OJT担当の先輩はプロジェクトを複数担当していたため、忙しくなり、面倒をみてもらえず、聞きたいことがあってもききにくくなってしまった。専門的な用語もなかなか覚えられなくなり、SEとしての仕事の際に不安を覚えるようになった。

数ヶ月前、自分が担当している作業でトラブルが立て続けに発生した。この一連のトラブルについて、先輩から強い叱責を受け、皆に迷惑をかけているという思いが強くなった。自分はSEには向いていないのではと思うようになり、このまま続けていくことに以前に増して強い不安を抱くようになった。そこで、新入社員研修時、担当してくれたキャリア・コンサルタントを思い出し、電話で予約し、相談にきた。

【面接経過】（ ）内キャリア・コンサルタント発言、「」内相談者発言

面接日、相談者Bさんは、少し緊張している様子で相談室にやってきた。新入社員研修時に比べると元気がなく、目を合わせず、うつむきながらとつとつと話し始めた。

研修終了後5歳年上の先輩がOJT担当者としてよく面倒を見てくれたこと、2年目から仕事も任されるようになったが、SEとしての自分のスキル不足を感じるようになったこと、このまま続けていけるか不安を持ち続けていた矢先、担当している仕事でトラブルが相次ぎ、同僚の支援を受け何とか解決したが、先輩から『もう3年目だろう、しっかりしろ』と怒鳴られ、『まったく使いものにならないな』とまで言われ、情けなくなり、悔しい気持ちになったこと、やっぱり自分はSEには向いていないのではないかとということが語られた。

キャリア・コンサルタントは、Bさんが先輩から叱責されたことについて、お客様への影響などを考えると仕方が無かったことを説明しながら、情けない気持ちや悔しい気持ちを受け止めた。また、Bさんの不安はスキル不足とコミュニケーション不足からくるものと感じていた。コミュニケーション不足を確認するため、次のようなやりとりがあった。

(プロジェクトチームの先輩には質問できないの?)

「OJT 担当の先輩は 5 歳上で、その他の方は 10 歳以上も年上の方々ばかりです。技術力も高い人たちで、皆黙々と仕事をしており、とても質問できる雰囲気ではありません。あるとき、OJT 担当の先輩に質問したら、『もう 3 年目だろ、自分で調べろよ。』と言われてからは、怖くて質問もしにくくなってしまいました。」

(不安な気持ちがあり、このままでは、どうにもならない思いになっているのですね。これからどうしたいと思っていますか?)

「今でもネットワークやセキュリティの仕事に興味が持てません。モチベーションも上がらず、やる気も失せてしまいました。最近は食欲もなく、胃痛もあったので、通院しています。でも、この会社の社風は好きなんです。同期入社の子たちとは仲がよく、できれば会社は辞めたくないの、語学力を生かし、人の役に立つ仕事とか、お客様に喜ばれる仕事ができる部署に異動したいです。」

(どのような部署を希望したいの?)

「…研修部とか…人事部とか、スタッフ部門みたいところが良いでしょうか。」

(SE の仕事も、お客様に対して役に立っている仕事ではないでしょうか。B さんが希望するスタッフ部門に異動できるかどうかはわかりません。今の職場でスキルを身につけてから異動を考えてはどうでしょうか。スキルがついた時、講師などの依頼がくるチャンスがくるかもしれませんね。そのためにも今の仕事をしっかりやっていきましょう。)

「ふうー、やっぱりダメですかあー。」

と B さんはうつむき加減でため息混じりに落胆の表情をあらわにした。

キャリア・コンサルタントは、B さんの希望にすぐに応えることはできないが、上司に相談する方法や、スキルを身につける方法などを次回話し合うこととした。

【所感】

キャリア・コンサルタントは、B さんの不安な気持ちを受け止め、現実検討ができるように関わることが出来たので良かったと思っている。当面は、現在の職場で頑張ってもらいたいとの願いもあり、上司面談で B さん自身から異動の希望が伝えられるようにと願っている。

以上

問 1 この事例相談者は、相談者の問題をどのように把握しているか、及び事例相談者が抱えている問題は何か、についてあなたの考えを記述せよ。(10 点)

問 2 この事例相談者の問題について、どのような目標を設定し、その目標を達成するためにどのような方法を用いるか、その根拠を含めて記述せよ(10 点)

問 3 この事例相談者に対して効果的な支援を行うための方法、内容を具体的に記述せよ。(10 点)

問 4 この事例相談者が課題を解決できるネットワーク(関係機関や関係者等)は何か。その根拠を含めて記述せよ。(10 点)

問 5 この事例において、環境上の問題は何か。その問題に対してどのような働きかけが考えられるか、具体的に記述せよ。(10 点)

事例 3 :【選択問題（需給調整機関分野）】

次の事例を読み、以下の問いに答えなさい。解答は指定された解答用紙（選択問題）に記述すること。解答用紙（選択問題）の選択した分野で「需給調整機関分野」を○で囲むこと。

事例相談者：公共機関のキャリア・コンサルタント 男（43歳）、相談歴4年
相談者：D（女：33歳）、大学教育学部卒、海運関連会社に派遣社員として勤務
夫34歳（営業職）・長女（5歳、幼稚園）・長男（2歳、保育園）

【来談経緯】

Dは大卒後、教員にならず事務職で大手商社に勤め、結婚・出産のあと派遣社員として海運関連会社の貿易事務に従事した。長男出産後も同じ仕事に復職し、船積書類や通関書類等の作成確認等貿易事務を仕事とし、貿易実務の資格も取得している。会社も待遇も仕事も気に入っているが、状況が厳しくなって自分の今後のキャリアや生活に迷いが生じている。勤務先にも派遣会社にも相談室はあるが、世話になっているので迷惑を掛けたくない。友人の紹介で、公共機関のキャリア・コンサルタントがいる相談室を予約した。

【面接経過】（ ）内キャリア・コンサルタント発言、「 」内相談者発言

1回目 2011年×月×日

Dの実家は遠方にあるが、夫の父母が近くに住んでいて、子の送り迎えは義母に手伝って貰っている。最近、義母の腰痛がひどくなり、子の送り迎えが難しくなってきたため、子の送迎をめぐって時間調整に夫と苦労し始めた。Dの勤務先は港湾に近く、自宅から1時間位かかる。仕事の性格上時間に追われることが多く、残業も緊急でかつ頻繁に発生する。このため、気に入っているこの仕事が、最近、続けられなくなりそうな状況で、とても不安になっていることが語られた。キャリア・コンサルタントは、仕事に対する意欲を確認するため、以下のような確認をした。

（この仕事が気に入っていて、ずっと続けたいのですね。）

「というか、以前、私は英語の先生になりたかったのです。事務職になったけれど、商社に勤めていたときは、英語と外国との取引に関わって良かったと思う。子どもはもう作らないので、ずっと仕事は続けたいし、将来は勉強して何らかの形で外国との取引に関わりたいと思うのです。無理でしょうか？」

（自分の手で外国と取引したい、という夢があるのですね。）

「ええ、なんかそういう仕事が出来て、外国へ遊びだけでなく仕事で出張できたらとか。可能性有りますか？」

（関わりを持つことは可能ですよ。貿易や営業、更にマネジメントを勉強して、一般の会社で外国と関わることも可能でしょう。Dさんの適性や興味を確認しながら、一緒にその方向に沿ったキャリアの道筋を考えましょう。）

「あの一、でもやっぱり女性には無理ですよ一。それに、私では…。」

（そんなことは無いですよ。今は女性のビジネス担当者や管理職も増えていきますし、女性の特性を活かした企業家も出現しています。Dさんは既に貿易事務はマスターしているし。）

「今のままだと、仕事を辞めて家庭に入らないといけなくなりそうだし…。」

（ああ。そうでしたね。お母さんやご主人と話し合ってるの？きちんと話し合ってみては？）

「ちょちょことは話してるけれど、きちんとは。やはり話さないと駄目ですよ。」

Dは家族と話し合うと言って、1週間後の面接を予約して帰った。

2回目 2011年×月×日（1回目から2週間後）

Dから予約の日に仕事で行けないと連絡があり、翌週に面談した。義母の腰痛も今週は小康状態で、先週は仕事のある義父にも1回助けて貰ったとのこと。いつもわずらわしがっている義父も孫の役に立ったと喜んでいて、ほっとした。しかし、子の送迎については、依然ピンチの状態で、このまま働き続けられるか心配していた。

「夫や義母と話してみたのですが、夫は『母に無理させられないし、生活費は大丈夫だから、近くでパートをすれば？』と言う。義母は『孫が可愛いし、医者に行きリハビリもするので、手伝える時は手伝わせて』と言う。結局は同じ繰り返しみたい。やれるところまでやって、諦めるのかなと思えてきた。夫は優しいし、子どもたちもとても大切だし、義母も良い人で、私は助けて貰ってばかりで、自分勝手にやってみよう。」

（そんなこと無いと思いますよ。女性もスキルを積み重ねてキャリアを形成していく時代だし、将来、子どもが成人した後の長い時間を自分の仕事や活動を通じ生き生き暮らすことは、とても大事です。）

「ええ、そう思ってTOEICを750点に上げる努力をし、貿易の勉強もしてきました。」
（では、今日は今までの仕事とスキルを整理して、Dさんのキャリア・ビジョンを目標にどんな勉強が必要か、一緒に検討しましょう。何より義父を含めご家族のご協力を得て、どうにか続けられると良いですね。）

キャリア・コンサルタントは、キャリアシートを利用して、Dとこれまでの経験を洗い出しながらスキル等を整理し、今後の方向性を検討した。Dからは、営業の経験が無いことや、経済、特に為替や法律等の知識が必要であると語られた。これに対して、キャリア・コンサルタントから、マネジメント能力や交渉力・ヒューマンスキルが大切であることを伝えた。話し合いの中で、仕事だけでなく、家事や子育て、幼稚園・保育園の関係と多岐にわたって多忙なため、時間が取れない可能性が依然として高いこと、研修や勉強をする時間をどう見つけるかが課題であると意見が一致した。

【所感】

Dは自分のキャリア・プランを持ち続けて努力してきた。しかし、現実の壁に遭遇し、苦闘しているため、ワーク・ライフ・バランスがうまく働かない。キャリア・コンサルタントとして、少しでもDの希望が叶えられる方向で援助したい。

以上

問1 この事例相談者は、相談者の問題をどのように把握しているか、及び事例相談者が抱えている問題は何か、についてあなたの考えを記述せよ。(10点)

問2 この事例相談者の問題について、どのような目標を設定し、その目標を達成するためにどのような方法を用いるか、その根拠を含めて記述せよ(10点)

問3 この事例相談者に対して効果的な支援を行うための方法、内容を具体的に記述せよ。(10点)

問4 この事例相談者が課題を解決できるネットワーク（関係機関や関係者等）は何か。その根拠を含めて記述せよ。(10点)

問5 この事例において、環境上の問題は何か。その問題に対してどのような働きかけが考えられるか、具体的に記述せよ。(10点)

事例4：【選択問題（教育機関分野）】

次の事例を読み、以下の問いに答えなさい。解答は指定された解答用紙（選択問題）に記述すること。解答用紙（選択問題）の選択した分野で「教育機関分野」を○で囲むこと。

事例相談者：大学内キャリアセンターのキャリア・コンサルタント 男（45歳）、
相談歴5年

相談者：E（男：22歳）、大学4年生 建築学科 両親と高校2年生の妹と同居

相談実施日：2011年12月初旬

【来談経緯】

Eは、大学生で建築学科に在籍している。単位は順調に取得し、来年の3月に卒業予定である。しかし、就職自体への動機が低いからか、現在まで就職活動をまったく行っていない様子であった。Eの指導教員は、Eの卒業後の進路を心配し、卒業後どうするつもりか？と何度も聞いたようだが、とりあえず今はやりたいことは無いとだけ答え、進路の話にはならなかった。また、Eの指導教員は、夏季休暇頃（2011年8月頃）から、キャリアセンターに行って相談するようにEに指示していたが、Eは12月初旬になって初めてキャリアセンターに相談に訪れた。

【面接経過】 （ ）内キャリア・コンサルタント発言、「」内相談者発言

Eは「研究室の先生に言われてここに来ました。」とだけ言って、黙ってうつむいたままであった。（先生に何と言われましたか？就職について何か悩みがあるんですか？）と尋ねたところ、Eは緊張した様子で、小声で話し始めた。

「実は、今まで全く就職活動していない。研究室の先生からも『卒業後どうするか？』と何度も言われ、夏休みの頃からキャリアセンターに相談に行くように言われていたが、今まで研究が忙しく来られなかった。建築の仕事は、製図や設計が苦手なため、何とか単位は取れたものの、これを将来やっというとは思わない。かといって、何かやりたい仕事があるわけでもない。親は『折角大学に通わたんだから、しっかり就職しろ』と言う。自分としても、妹もこれから学費が掛かると思うし、これ以上親に迷惑を掛けられない、就職しなければいけないと思う。でも、自分が何に向いているか、就職活動は何をどういう風にやっていっているのか分からない。もうこんな時期だし、遅いのは分かっている。就職しなければいけないことは理解できるが、やる気が起きない。父親は残業で遅いし、よく会社の愚痴を言っている。自分が会社で勤めていく自信もない。」

キャリア・コンサルタントは、Eの趣味やバイト経験から就職への糸口を見つけようと（バイトやサークルは何かやっていた？趣味は？）と尋ねたところ、「バイトもサークルも単位を取得することで精一杯であったため、やっていない」趣味は、始め「無い」と答えたが、趣味と言えるかどうかと前置きした後「ゲームをしたり、小説を読んだりすること。」と答えた。

キャリア・コンサルタントは、Eの返答から、研究や単位取得を理由に、就職活動も含めてバイトやサークル等、大学生が経験する事柄から逃避していたと考え、Eの気づきを促進するため（研究や勉強をずっとやっていた訳ではないと思うよ。就活を今までやらなかった

言い訳に聞こえてしまう。まず自分を認めないと)と助言した。Eは、「すみません、その通りかもしれません」と答え、続いて「就活は今から無理でしょうか?」と尋ねてきたので(無理ではない。求人もまだ来ている。あきらめずにいこう)と励ました。

キャリア・コンサルタントは、Eは経験不足や情報不足であり、自己理解や職業理解が進んでおらず、卒業後のキャリア・プランや目標設定も出来ていないと思った。

そこで、まず自己理解や職業理解を促すことと、進路選択の一助となることを目的とし、VPI 職業興味検査を実施しようと思い、VPI の事をEに説明したところ、Eは「やってみたい」と言ったので、次回面接までに記入してくるように伝えた。

また、目標設定とキャリア・プランを描くために(5年後と10年後の自分はどうなりたい?)とEに尋ねたところ、Eは、「5年後は、とりあえず会社に入って正社員として続けたい。10年後は、人並みな生活を続けていければ良い」と答えた。

(もう少し具体的な目標は?)と尋ねたところ、Eは、「今は思い浮かばない」と答えたため、次回までに具体的な目標を考えて来るように伝えた。

さらに、キャリアセンター内の求人票を、どの様な企業でも良いから、時間のある時に目を通すこと、来年1月に学内で開催される「4年生の会社説明会」に出席し、企業の採用担当の話聞くことを伝えて、面接を終えた。

Eは、少し緊張が解けた様子で、来週の面接予約を取り、最後はホッとした表情でキャリアセンターを後にした。

翌週、Eは卒業研究が大詰めであるからという理由で面接をキャンセルした。その後1週間経つがEからの連絡はない。

【所感】

出来るだけ就職しなければというEの気持ちを尊重して面接した。面接の最後では表情も明るくなったように感じた。しかし、Eは研究を理由に、面接をキャンセルした。就職活動から逃げ続けても、いつかE自身が困ると思うのだが…。最近このタイプの学生が多い。

以上

問1 この事例相談者は、相談者の問題をどのように把握しているか、及び事例相談者が抱えている問題は何か、についてあなたの考えを記述せよ。(10点)

問2 この事例相談者の問題について、どのような目標を設定し、その目標を達成するためにどのような方法を用いるか、その根拠を含めて記述せよ(10点)

問3 この事例相談者に対して効果的な支援を行うための方法、内容を具体的に記述せよ。(10点)

問4 この事例相談者が課題を解決できるネットワーク(関係機関や関係者等)は何か。その根拠を含めて記述せよ。(10点)

問5 この事例において、環境上の問題は何か。その問題に対してどのような働きかけが考えられるか、具体的に記述せよ。(10点)

